

「跡見学園紀要」既刊目次

第一 (一九四五)

火と古代日本人の宗教……………橋 純 一
古今和歌集両序の研究……………今 井 卓 爾
アクセント私見……………林 大
満洲語学小書目……………山 本 謙 吾
附 橘 純一教授略年譜・著述略目録

第二 (一九五五)

アダムスミスの「道德哲学」について……………森 園 節 生
竜華経の研究……………沢 田 瑞 穂
「守宮」と「蜥蜴」「蝶蝶」について……………坂 田 勝
蜻蛉日記と周辺の人たち……………今 井 卓 爾
助動詞「めり」の起原について……………小 松 登 美
宮沢賢治の文学における「まこと」の意義……………恩 田 逸 夫
——作品「めくらぶどうと虹」を中心として見た四次元芸術の解明——

第三 (一九五八)

小倉百人一首序説……………中 島 悦 次
新古今歌論の形成序説……………田 尻 嘉 信
宮沢賢治挽歌の中心課題とその展開……………恩 田 逸 夫
三世一身法及懇田永世私有法の成立……………下 川 逸 雄
アイゼンク博士の精神検査……………伊 藤 祐 忠
血漿蛋白質におけるチロシンの結合状態……………鷺 尾 俊 文
Pherol Ester in Molecule

第四 (一九五九)

宇治拾遺物語序説……………中 島 悦 治
王朝長歌論抄……………田 尻 嘉 信
分析化学の教育的基礎……………梶 田 凡 平
超双曲型作用素の基本解について……………佐 久 間 求 一

研究報告 (昭和33年特別研究費)

Privariate Kinase Nucleofidle 特異性について……………鷺 尾 俊 文
女子学生の健康管理を基本とする実態調査……………有 富 光 子・石 田 きよ・近 藤 美 千 代・西 田 寿 美
道德教育のための基礎資料……………中 ・高 校 教 務 部

「跡見学園短期大学紀要」既刊目次

第一集

「神話」の展開……………中 島 悦 次
「定家卿百番自歌合」小考……………田 尻 嘉 信
アダム・スミスにおける道德是認の問題……………森 園 節 生
満洲語基礎語彙II・衣篇……………山 本 謙 吾
本学における家政科授業課目とその再検討……………有 富 光 子

第二集

「神話」の展開 (承前)……………中 島 悦 次
スエーデンの学校教育……………鷺 尾 俊 文
和歌における羈絆と場と……………伊 藤 嘉 夫

第三集

楊素と薛道衡……………網 祐 次
名所題詠の成立……………田 尻 嘉 信
家事作業の領域に関する一考察……………三 東 純 子
中古仮名文における教詞の用法——(その一、順序表現)——……………小 松 登 美

第四集

井上内親王とその周辺……………青 木 敦
——歴史物語における史的・民俗的素材についての考察——
果物の果汁・果汁羹・果汁ゼリーのPH糖度について……………近 藤 美 千 代
家事作業の領域に関する一考察……………三 東 純 子
第三報 立体作業における作業範囲について……………三 東 純 子
第四報 立体作業における作業の至適高について(一)……………本 間 小 枝
Virginia Woolf の小説における文体の変化……………行 吉 邦 輔
——初期から中期——